

# TOEIC 生 学習アドバイス

## 1 目標到達点と各スコアに必要な能力

### 600 点・・・ビジネス初級～中級

基礎的な文法、会話表現が身に付いている。時間を掛ければ、複雑な長文も理解できる。リスニングでは、話しの概要が理解できる。

### 800 点・・・ビジネス中級～上級

基礎的な文法や会話表現を駆使して問題を解くことができる。TOEIC の解き方も身に付いていて、知識をアウトプットできる。リスニングでは、話しの流れが明確に分かる。

### 990 点・・・ビジネス超上級

文法のミスは無く、頻出頻度の低い単語も理解している。長文を難なく読みこなすことができる。リスニングでは、ほとんど全ての音がディクテーションで聞き取れる。

就職活動や転職活動、または昇給の条件として、英語力があると履歴書に書けるのは 600 点からです。リスニング、リーディング共に 300 点（全体の 6 割程度）を確実に取れるようにする必要があります。800 点に到達すれば、実用的に英語が使えるようになり、仕事上で大きなアドバンテージとなるでしょう。900 点以上は難しそうに見えて、実はそうでもありません。他の英語試験だと満点を取るのは非常に難しいのですが、TOEIC では正しい知識をいかに素早くアウトプットできるかが鍵となるので、訓練すれば誰にでも満点の可能性があるので。



## 2 目標点までの勉強法

### 600点

#### ・英文法

中学英文法をマスターする。第5文型と品詞を使って読む感覚を養う。

#### ・単語

頻出単語を繰り返し覚える（特に問題集で繰り返し出題される単語）。熟語や言い回しを覚える。

#### ・リスニング

内容語を聞き取る。様々な疑問文の形を理解し、その答え方が瞬時に分かるように訓練する。とにかく英語のリズムに慣れる。

600点を目指すには、まず基本的な Part1,2,5 がテンポ良く解けるようになるまで、文法・単語・熟語に注意してひたすら反復を繰り返します。リスニングでは、話しの流れを表す内容語を聞き取れるようにすること。そして自分が理解している英語の音と実際に流れてくるネイティブの英語の音が一致するように、ネイティブの音に慣れる練習をします。

### 800点

#### ・英文法

高校英語を完成させる。文法の形だけでなく、それぞれの品詞の語法を学ぶ。

#### ・単語

熟語が理解できるだけでなく、ディスコースマーカーの使い方や細かい表現を理解できるようにする。

#### ・リスニング

内容語だけでなく、機能語を聞き取れるように挑戦する。答えに直結する箇所とヒントになっている文の聞き分けをし、集中力のコントロールをする。

800点を取るためには、リスニング Part3,4 とリーディング Part6,7 でもしっかり点数が稼げるようにならないといけません。TOEICの難所は、同じような問題が続き、問題数そのものも非常に多いことです。したがって最後まで集中力が続かず、ケアレスミスやできるはずの問題が解けなかったということが多いです。そのため、各パートで集中力をどの程度使うかをコントロールすることも視野に入れて練習する必要があります。

## 990 点

### ・ 英文法

全体のスピードを上げる。知識が感覚で使えるようになるまで繰り返し練習する。

### ・ 単語

参考書や単語帳に出てくる単語は完成させる。実際ビジネスの現場で使用される単語（契約書・見積書）を確認し、知識を増やしていく。

### ・ リスニング

特に聞き取りづらい発音に注意してディクテーションを行う（has been doing/is been doing, r/l, 音の脱落・連結など）。

900 点以上を目指すとなると「分かっている」だけでは取りこぼしてしまう問題も出てきてしまいます。800 点到達時に行った集中力のコントロールを行いながら、どんな問題が出てきても対応できる知識を引き出す力が必要です。また、今まで以上に1つの問題のミスが重くなります。丁寧に、素早く問題をこなせるように訓練しましょう。